

南中のかぜ

学校便り 第13号

令和6年3月4日

HP: <http://www.koganei.ed.jp/~minamijs/> 小金井市立南中学校
tel:042-383-1105・fax:042-382-0405 小金井市貫井南町1-26-1



森のくまさん

校長 金井 誠

ちょっと前のことですが、ひよんなことから童謡「森のくまさん」の歌詞について、娘と議論になったことがありました。「森のくまさん」は、アメリカ民謡で馬場祥一氏が日本語の作詞をしています。その内容は、ご存じのとおり、「お嬢さん」が森で「クマさん」に出会い、逃げ、追いかければ、イヤリングを「クマさん」が拾ってくれていたことが分かり、お礼に歌う、というのですが、その2番「クマさんの いうことによ お嬢さん おにげなさい」は、どういう意味なのか、という議論です。

私は「以前、第三者が『クマの言うことなど信じてはいけない。すぐに逃げなさい。』と言っていたのをお嬢さんが思い出したのだ。」と聞いていたまを話しました。ところが、娘は「いや、クマが『お嬢さん、お逃げなさい。』と言っているんだ。」と主張します。「クマが『逃げろ』と言っているなら、なぜその後を追いかけるのか。矛盾している。」と私。「でも、歌詞をそのまま素直に読むと、クマが『お嬢さん、おにげなさい』と言ったと考えるのが妥当だ。」と娘。「お嬢さんにしてみれば、クマに出会ったらまず逃げ出すのが自然だ。それなら、イヤリングを返そうとクマが追いかけてきたのも理解できる。」と私。…議論は平行線をたどりました。

ところが、調べてみると意外なことが分かりました。元々の英語の歌詞からは、クマはお嬢さん（「お嬢さん」という言葉は出てこないのですが…。）に「銃も持っていないのに、どうして私（＝クマ）の前から逃げないんだ？」と襲う気満々で言い、わざと逃がしてお嬢さんを追いかけるのを楽しもうとする様子を感じられるのだそうです。その辺りの英語表現を馬場氏が日本語に訳す際に「お嬢さん、おにげなさい。」としたのではないかと、という推測で議論は終わりました。（因みに、元の英語の歌詞にはイヤリングもお礼の歌も出てきません。馬場氏の「作詞」のようです。）結局、娘の主張の方が元の英語の歌詞に近かったわけですが、日本語のほのぼのとした歌詞とは裏腹な、あまりに物騒な内容に驚きを隠せませんでした。

このように、物事の真実は、よく調べてみないと分からない場合が多々あります。「何となくそう思っていた。」ということは、私にもよくあります。ここまで発達した情報化社会においては、情報を正しくコントロールする力が必要ですが、聞かないようにしていても様々な情報が勝手に入り込んでくることもしばしばです。その反面、今回の「森のくまさん」の話のように、自分から求めなくては得られない情報もあります。必要な情報・いらぬ情報、友達と共有すべき情報・共有した方がよい情報、正しい情報・誤った情報、伝えてはいけない情報、広めてはいけない情報、…あふれる情報を自分で考え、自分で判断して、取捨選択してコントロールしていかなければなりません。スマホトラブル、ネットトラブルから身を守るためにも、真実を追求するためにも、情報をコントロールする力を身に付けることが本当に重要です。進級、卒業により、新しいステージを間近に控える生徒の皆さんに改めて意識してほしいと思い、書き連ねました。

森のくまさん

ある日 森の中 / クマさんに 出会った
花咲く 森の道 / クマさんに 出会った

クマさんの いうことによ / お嬢さん おにげなさい
スタコラ サツササノサ / スタコラ サツササノサ

ところが クマさんが / あとから ついてくる
トコト トコト / トコト トコト

お嬢さん お待ちなさい / ちよっと 落とし物
白い 貝がらの / ちいさな イヤリング

あら クマさん ありがとう / お礼に 歌いましょう
ラララ ラララララ / ラララ ラララララ

The Bear (「森のくまさん」の元の英語の歌詞)

The other day, / I met a bear,
A way up there, / A great big bear!
The other day I met a bear,
A great big bear a way up there!

He looked at me / I looked at him
He sized up me / I sized up him
He looked at me, I looked at him,
He sized up me, I sized up him.

He said to me / "Why don't you run?
I see you don't / Have any gun"
He said to me, "Why don't you run?
I see you don't have any gun."

And so I ran / Away from there
And right behind / Me was that bear
And so I ran away from there,
And right behind me was a that bear.

Ahead of me / I saw a tree
A great big tree / Oh, golly gee!
Ahead of me there was a tree,
A great big tree, oh, golly gee!

The lowest branch / Was ten feet up
I had to jump / And trust my luck
The lowest branch was ten feet up,
I had to jump and trust my luck.

And so I jumped / Into the air
And I missed that branch / Away up there
And so I jumped into the air,
And I missed that branch away up there.

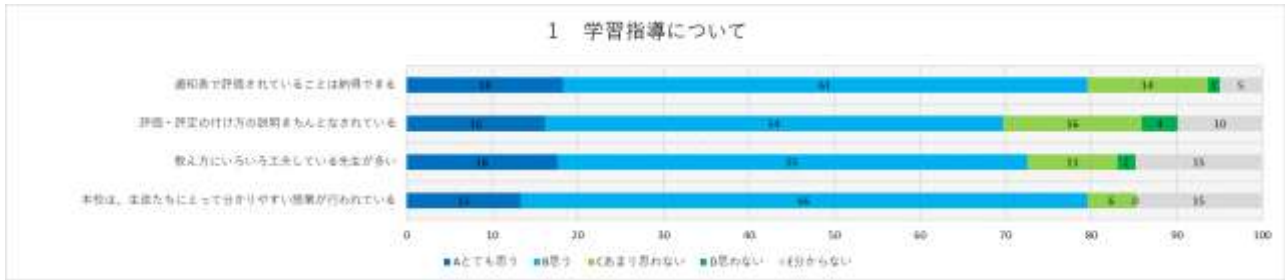
Now don't you fret / And don't you frown
I caught that branch / On the way back down
Now don't you fret and don't you frown,
I caught that branch on the way back down.

That's all there is / There is no more
Until I meet / That bear once more
That's all there is, There is no more,
Until I meet that bear once more.

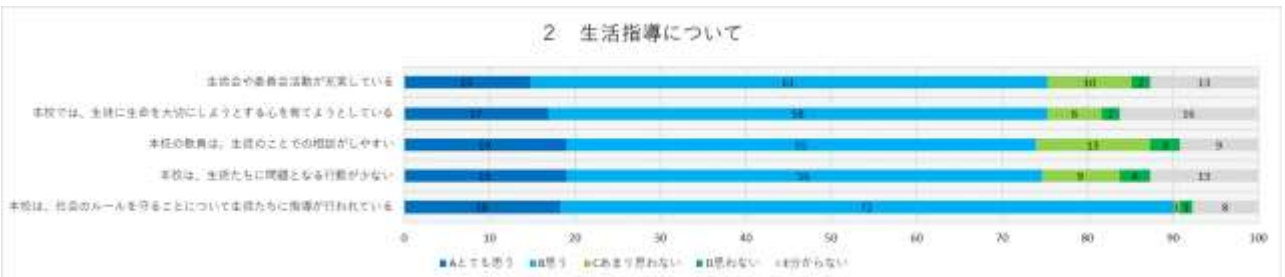
The end, the end / The end, the end
The end, the end / The end, the end
The end, the end, the end, the end,
This time it really is the end!

令和5年度 学校評価について(保護者)

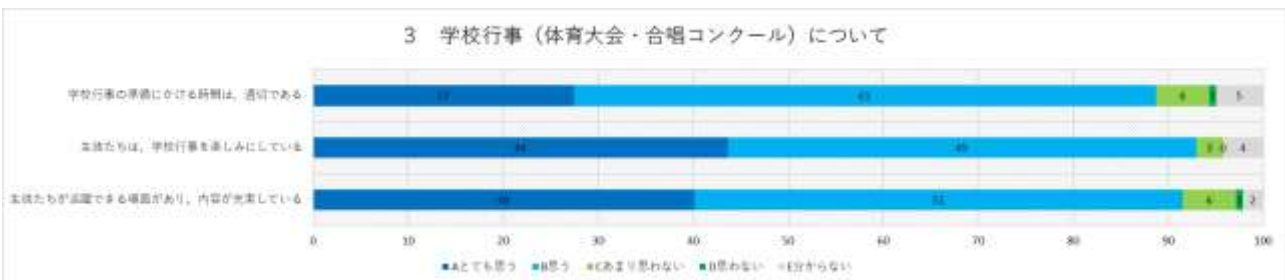
今年度も本校の教育活動にご理解・ご協力を賜り、感謝申し上げます。保護者の皆様からいただいた学校評価をまとめました。



評価・評定の説明について、十分ではないというご意見が多くありました。通知表に記載されている成績に限らず、日常的な評価に関して十分な説明をするとともに、公正・公平な評価ができるようにしていきます。また、教え方の工夫について、分からないという回答が多くありました。保護者の皆様には、学校公開で授業を見ていただく機会をつくっていきたく考えています。



ルール遵守の指導以外の項目で十分ではないというご意見が多くありました。生徒が安心して学校生活を送れるよう相談体制の拡充をするとともに、自主的に学校生活をつくっていく学校づくりを目指していきます。



すべての質問で88ポイント以上の高い評価をしていただきました。本校の二大嵐と呼ばれる学校行事への取組が評価されたと考えております。さらに生徒が主体となり、達成感のある学校行事になるように取り組んでいきます。



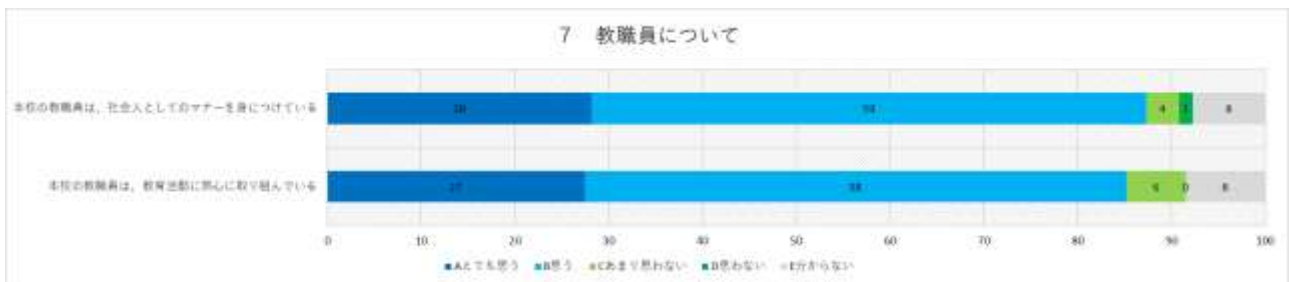
すべての質問で「分からない」の回答が多くありました。学校での進路相談や情報提供の周知をさらに行い、生徒が主体的に判断できる進路指導をしていきます。



部活動の充実度に関して、50ポイント未満でした。現状の仕組みの中で、よりよい部活動になるよう検討していきます。今後、地域移行も検討されていきますので、動向を注視しながら改善していきたいと考えています。



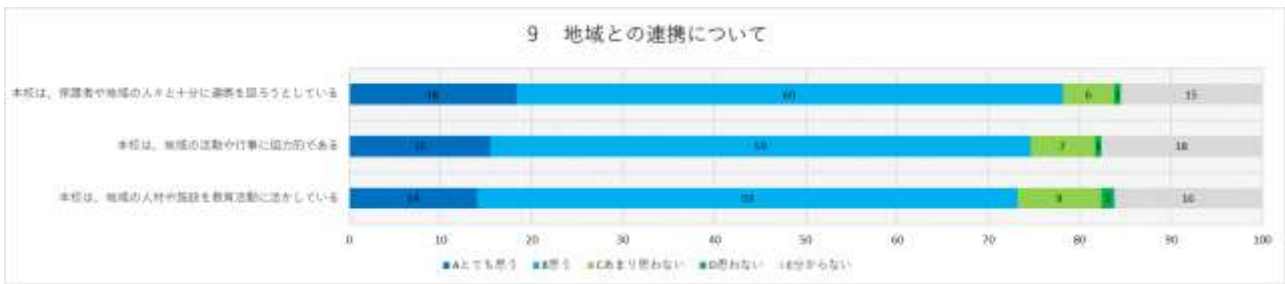
すべての質問で「分からない」の回答が多くありました。学校だよりやホームページ等で学校運営の様子をお伝えしていきます。



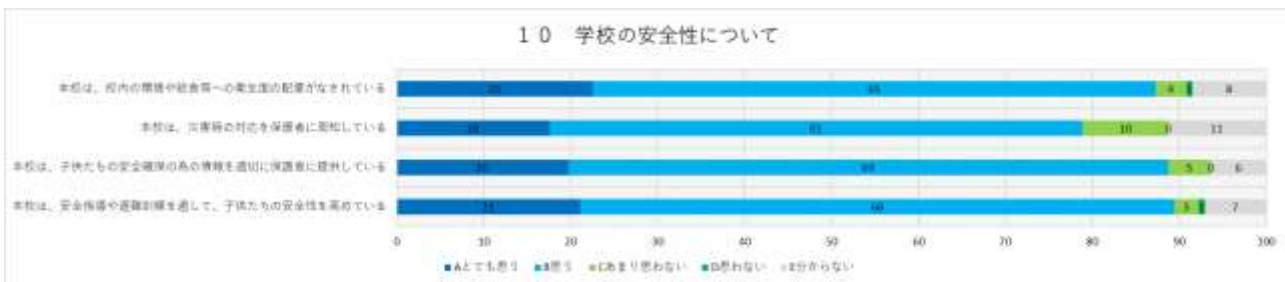
教職員について、高い評価をいただきました。励みになります。今後も生徒一人一人を大切に、教育活動に取り組んでいきます。



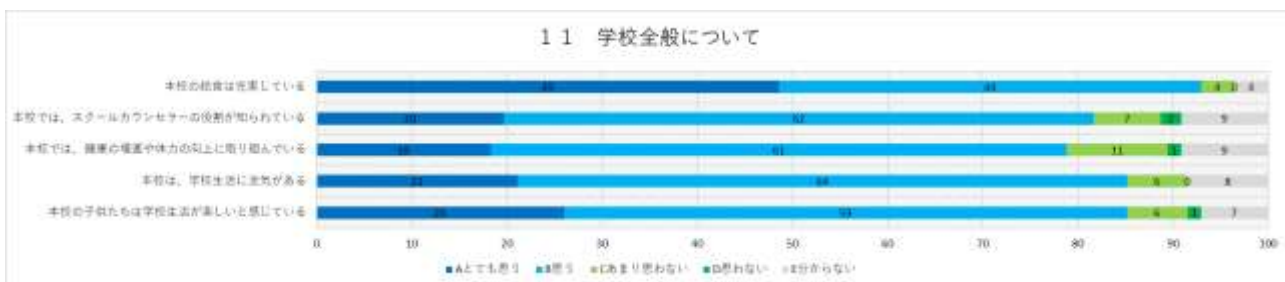
高い評価をいただきましたが、様々な点で情報提供不足も見受けられましたので、一層の充実を図っていきます。



「分からない」という回答が多くありました。地域防災訓練やラジオ体操、保育園等のボランティアを募集したり、地域のゴミ拾いをしたりしていることを伝えていくとともに、さらに連携を図っていきけるようにしていきます。



全体的には高い評価をいただきましたが、生徒の安全に直結する部分ですので、学校全体で安全性は高めていけるようにします。



本校の美味しい給食や学校生活の満足度が、生徒から保護者の皆様にも伝わっていることがうれしい限りです。健康増進や体力向上について、取組を明確にしていきたいと考えています。

自由記述への回答（個別に対応させていただく内容は掲載していません。）

◇学習に関すること

- ・成績表から担任のコメント欄がなくなり、教員の働き方改革の一つと理解はしていますが、正直なところ、担任が生徒一人一人を見てくれているのか、向き合ってくれようとしているのかさえも見えなくなってしまった。
- ⇒安易な削減ではなく、生徒の成長に向き合えるようにしっかり議論し精選して参ります。評価に関しては、夏季休業中の三者面談を充実させます。
- ・一学期の美術の通知表の付け方が納得がまだいってない部分がある。平均点より良くて提出物も出してたのにあまり良くなかった。子供は点数配分を先生に聞きに行ったら、テストの点数はあまり関係なく、作品の出来次第だと言われたみたいで、何年何組の誰ですか？と言われたみたいで、通知表の個人評価付けてるのに個人を把握できてないのは理解できない。子供は美術系の高校志望だから、納得できない評価に残念がりかなり困惑していました。
- ⇒評価に関しては、丁寧に説明して参ります。

自由記述への回答（個々に対応させていただく記述は掲載していません。）

・全然関係ないのですが、貸し出しされているChromebookの画面が借りた時から割れている範囲が広範囲だそうです。今年度の1年生も人数が多く予備がないとの事でそれを使うようにとの事で、予備がないので仕方ないかもしれませんが、ストレスになるようなので、次回からは、そういうものは貸し出す前に新しいのに交換していただけるとありがたいです。

⇒貸与する前に確実に確認いたします。来年度からは、卒業まで同じ端末を使用するようにいたします。

・授業内容や問題のわからないところがあり、個別で質問をした際に、授業で話したでしょう。というような事を言われ、応じてもらえなかったことが多々あるようです。該当生徒にも普段から授業態度が良くないところがあるのかもしれないが、本人が面倒くさがらず、わからないことをわからないままにしたいくない、態度を改め、意欲を出してきている、友人に聞けないから先生に勇気を出したなどさまざまな理由があるのだから、生徒が聞いてきたことには突き放さず向き合ってほしいと思います。

⇒生徒が勇気を振り絞って聞いたことをきちんと受け止め、答えていけるようにいたします。

◇生活に関すること

・紙でのお便りではなくなり、メール配信なのでとても見にくい。子供が渡し忘れて保護者に渡らないことはなくなったが、見るのが大変で、内容をあまり読まなくなった。結果見落しが増えていると思う。

⇒小金井市気候非常事態宣言に伴い、小金井市全学校で環境問題を自分事にして取り組んでいます。メール配信の際の件名を工夫して参りますが、パソコンやモニターへのミラーリング等を活用して見やすい工夫をしていただければと思います。

・生活指導や進路指導は、生徒にはされているが、親には見えてこない部分が多いと思う。

⇒気になることがありましたら、お聞きください。

・給食が少しでも早くベジタリアン対応してもらいたい

⇒小金井市の給食基準に則って対応して参ります。

・兄弟が下にいることもあり、今後の部活動の動向が気になります。教員の働き方改革は大事ですが、商業化される方向には慎重に、学校や保護者の視点で、社会に意見を発信していけたらと思います。子どもたちにとって、仲間と夢中になって取りくむ場であり生き生きとした活動を大人として保証できたらと思います。

⇒学校の部活動に限らず、保護者の皆様や地域にお住まいの皆様にご協力いただきながら社会全体で生徒の成長に関わってもらえるようにしていきたいと思います。

・部活動に熱心な子が多いので、土日共に活動できるよう（その分平日の活動を減らすなど対応）になるとうれしく思います。

⇒国、都、市から出されている部活動ガイドラインに則って活動できるようにします。

・いつもご指導くださりありがとうございます。来年度から下の子(男子)が入学しますので、2点希望を伝えさせていただきます。

①バドミントン部は女子だけしか入れないので、男子も入れるといいです。

②ペーパーレス化により、持ち物やスケジュールなど大事な情報が書いてある学年だよりを生徒が持ち帰ってこない状況になっています。親任せにせず生徒自身が自分で確認準備する習慣がつくように、学年だよりなどスケジュールや持ち物に関する大事なお便りは紙で生徒に渡すか、タブレットの持ち帰りを可にしてデータで自分で確認できるような体制になるといいなと思います。

⇒部活動に関しては、教職員の状況に応じて検討していきます。学年だよりや生徒に関係する文書に関しては、全学級のclassroomにアップしています。タブレットの持ち帰りは、毎日可能です。学校でも生徒自身がスケジュール管理できるよう指導していきます。

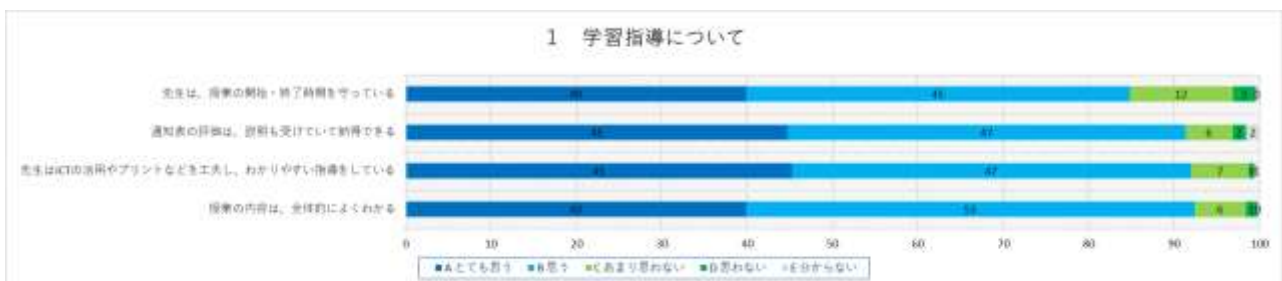
自由記述への回答

・クラブが他校に比べて少ないため、その点で学校の魅力が減っていると思う。場所や担当の先生など工夫して、クラブを増やせないか検討してほしい。
⇒部活動の地域移行の動向も注視しながら、できる範囲で検討して参ります。

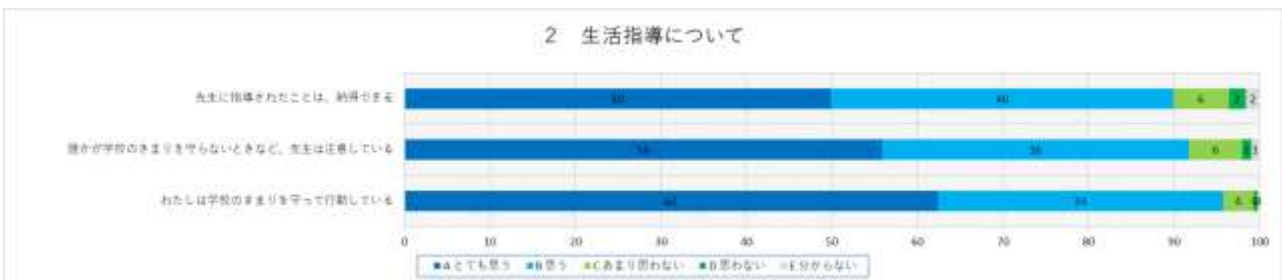
・野球部の話を子供から聞いていると、子供達の自主性に任せるという指導方針は理解できるのですが、指導しなければいけない所はもう少し指導して頂ければありがたいです。（例えば練習中片付け中遊んでいる生徒がいて危ない、片付けをするのが一部の生徒に偏っている等）
⇒自主性を伸ばしながらも、必要な指導をして参ります。特に安全に関することは最優先で指導します。

・本校の教育活動へのご理解・ご協力のお言葉も多くいただきました。感謝申し上げます。残念だったのは、提出率が全世帯数の約34%だったことです。多くの保護者の皆様にご意見をいただけるようにして参ります。今後とも、よろしくお願いいたします。

令和5年度 学校評価について(生徒)



学習指導について、全体的に生徒の満足度は高いですが、常に授業力の向上を目指していきます。また、一方的な教え込みの授業にならないよう工夫改善を図っていきます。



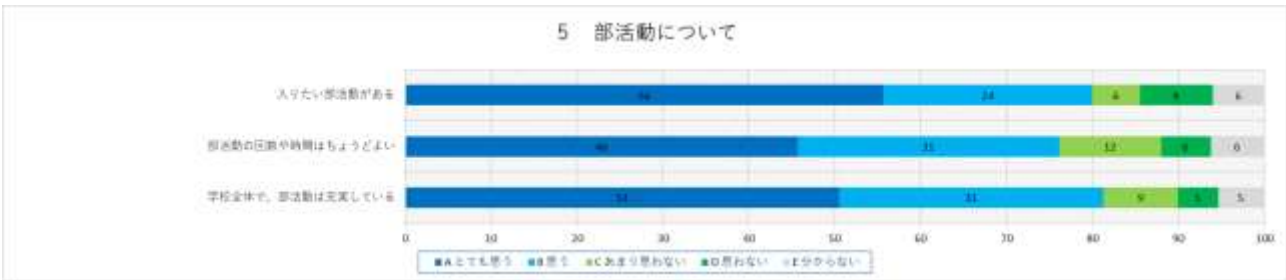
生活指導について、非常に高い評価になりました。落ち着いて生活をしている南中生の様子を表しています。



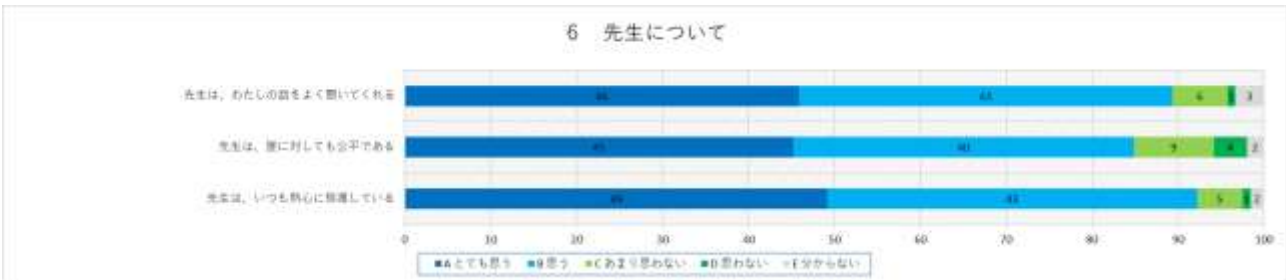
学校行事について、高い評価となっていますが、生徒がより主体的に取り組める学校行事にしていきます。



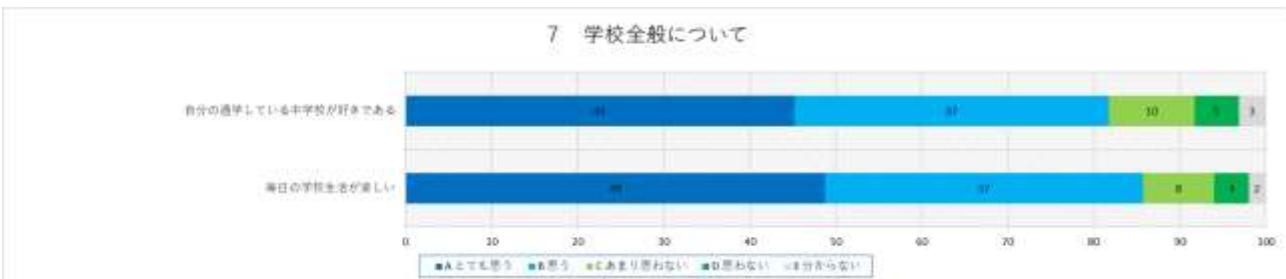
進路相談の機会が少ないと感じている生徒もいるようです。生徒が日常的に相談できる環境づくりをしていきます。



他の分野よりも低い評価となっています。学校でできることを精選し、改善していきます。部活動の地域移行に対して、生徒のニーズを伝えていけるようにします。



生徒と教員の関係性は良い結果になっていますが、教員の公平さは意識し続けなければいけません。生徒との関わりを大切にしていきます。



100ポイントを目指して、教員の授業改善や工夫、生徒の主体的な生活づくり、自治的な生徒会活動等々、学校全体で生徒のための学校づくりを進めていきます。